

## 船舶事故調査報告書

平成25年3月7日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

|  |  |
|--|--|
| 事故種類   | 転覆   |
| 発生日時   | 平成24年5月6日（日） 09時30分ごろ  |
| 発生場所   | 福井県高浜町内浦半島北方沖<br>高浜町所在の押廻 <sup>おしまわし</sup> 埼灯台から真方位108°600m付近<br>（概位 北緯35°33.0′ 東経135°30.4′）   |
| 事故調査の経過  | 平成24年5月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。  |
| <b>事実情報</b><br>船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者等<br>L×B×D、船質<br>機関、出力、進水等 | プレジャーボート <sup>よしかわ</sup> 吉川丸、5トン未満<br>253-4383福井、個人所有<br>4.03m (Lr) × 1.39m × 0.49m、FRP<br>ガソリン機関、7.20kW、昭和61年2月   |
| 乗組員等に関する情報   | 船長 男性 72歳<br>一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定<br>免許登録日 昭和59年5月25日<br>免許証交付日 平成21年5月22日<br>（平成26年6月29日まで有効）   |
| 死傷者等   | なし   |
| 損傷   | 船外機に濡損   |
| 事故等の経過   | <p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、平成24年5月6日09時00分ごろ内浦半島北方沖の釣り場で漂泊し、釣りの仕掛けの準備を行っていたところ、天候が急に悪化して雨が激しく降り、風が強くなって波も高くなってきたので急いで帰港することにした。</p> <p>船長は、船尾部で腰を掛けて船外機を操作し、船尾方から風と波を受けながら高浜町<sup>おとみ</sup>音海漁港に向けて西進中、発進して約5～10分後に内浦半島北方100m付近において、船尾から波高約1.5mの波が打ち込み、船尾部分に海水がたまったので、約2ノットの速力に減じて海水をくみ出しながら航行していたところ、09時30分ごろ、再び波が船内に打ち込み、船尾側に傾斜して転覆した。</p> <p>船長及び同乗者2人は、海に投げ出されたので、船長が携帯電話（防水型）で付近を航行中の小型船舶に救助を要請し、全員が同船に</p> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>救助され、同船から海上保安庁に通報された。</p> <p>本船は、巡視艇などにえい航されて音海漁港に帰港した。</p>   |
| 気象・海象  | <p>気象：天気 雨、風向 東、風力 3</p> <p>本事故当時の気象警報又は注意報の発表状況</p> <p>福井地方気象台 高浜町に雷注意報</p> <p>舞鶴海洋気象台 山陰沖東部及び若狭湾沖に海上風警報</p> <p>天気図（平成24年5月6日03時発表）によれば、中心気圧1,000hpaの低気圧が山陰沖の日本海を時速20kmで東北東に進んでいた。</p> <p>海象：波高 約1.5m、うねり なし、潮汐 上げ潮の初期</p>  |
| その他の事項   | <p>船長は、船釣りを始めてから約20年になり、本船で年間約10～15回釣りに出掛けていたので、本事故発生場所付近を何度も航行したことがあった。</p> <p>船長は、本事故前日の19時及び本事故当日朝のNHKの気象情報並びにインターネットの気象情報を入手しており、屋ごろから天候が悪化し、京都府舞鶴市沖では波高が約0.5～1.5mとなるとの予報が出ていたので、午前中は天候が悪化しないものと思って朝から釣りに出掛けた。</p> <p>本船は、船尾部に船外機を備えた小型船舶であり、操舵室や航海計器はなく、船尾部の乾舷が約50cmであった。</p> <p>船長及び同乗者2人は、全員が救命胴衣を着用していた。</p> |
| <b>分析</b><br>乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、高浜町に雷注意報が発表された状況下、内浦半島北方沖を帰航中、船尾方から波高約1.5mの波が打ち込んだことから、転覆したものと考えられる。</p> <p>船長は、出港前の気象情報により、屋ごろから天候が悪化することを知ったので、午前中は天候が悪化することはないものと思い、朝から釣りに出掛けたものと考えられる。</p>  |
| <b>原因</b>  | <p>本事故は、本船が、高浜町に雷注意報が発表された状況下、内浦半島北方沖を帰航中、船尾方から波高約1.5mの波が打ち込んだため、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>  |
| <b>参考</b>  | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出港前に気象情報を入手し、天気予報や気象現況と共に気象警報又は注意報の発表状況を確認すること。</li> <li>・ 天候の悪化が予想される場合は、出港を中止すること。</li> <li>・ 天候の悪化により帰航する場合は、気象、海象の状況に応じ、早</li> </ul>  |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>期に最寄りの安全な場所に避難することも考慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 小型船舶は、風や波の影響が少ない海域で釣りをすること。</li></ul> |
|--|---|